

8月から拡大月間が始まりました！
組合未加入者の紹介をお願いします。

土建にいざ

埼玉土建一般労働組合新座支部機関紙

発行所

埼玉土建一般労働組合新座支部
〒352-0011 新座市野火止8-1-27
TEL048(481)1200 Fax048(477)9088
発行人 丸山 政信
編集責任者 岡野 和夫
8月号 定価30円 (購読料は組合費に含まれています)

共済制度の魅力を広げ、拡大月間を成功させよう



橋谷事務局長へ共済制度について質問中！

「相互に助け合う制度」それが総合共済

8月27日(日)に支部活動者会議&出陣式が支部事務所にて66人の参加で行われました。午前10時に藤原副支部長より「本日の会議は、組織拡大と共済推進を相乗的に進めるための学習、意思統一の場として開催します」と開会のあいさつがありました。続いて丸山支部長が「私自身も土建の共済、国保、労災などにお世話になってきた。土建の魅力仲間を広げ、拡大月間の目標達成のために皆さんの協力をお願いします」と訴えました。

講演終了後、斉藤共済部長と担当書記による共済ワンポイント学習を行い、共済推進キャンペーンの協力を訴えました。

の橋谷恭平さんが「埼玉土建の共済活動」の講演をしました。橋谷さんからは、営利を目的とした民間の保険と違い、共済制度は「相互に助け合う」という精神が宿っている仲間内の社会保障制度と説明し、組合が大きくなれば、さらに充実・発展させることが出来ると訴えました。共済の様々なメリットを解説し、最後に共済加入によって無駄な支出を抑え、可処分所得を増加させて「第二の賃上げ」と説明がありました。



来賓の島野本部書記長

新座支部がやり抜こう

午後から拡大月間出陣式に移り、来賓の島野本部書記長が「新座支部には全県のけん引役として拡大月間を頑張ってもらいたい。そして、岸田政権の悪政に対する政治闘争にも協力を」とあいさつがありました。佐藤組織部

【石堀 西川久治】

長が「来年3月現勢実増させるため、この拡大月間を何が何でも達成させるために新座支部一丸となってやり抜こう」と訴えました。小池副支部長の乾杯の音頭で乾杯し、交流会となりました。途中河又厚文委員長の間決起バスハイク参加の訴えがあり、各分会・青年部・主婦の会・シニア友の会の熱い決意表明。西川副支部長の閉会のあいさつがあり、山本書記次長の団結ガンバローで閉会しました。



当日は晴天で地域に大いにアピール

火 皆様は、健康診断を毎年受診されていますか？働いている方は1年に1度健康診断を受けます。日本の健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)は男性が72.68歳、女性が75.38歳(令和3年12月)という統計が出ているそうです。40歳以上になると受ける特定健診では生活習慣病などいろいろな病気に関係するものをさらに詳しく調べる健診です。働いている方やその扶養の方も対象となります。しかし働いている8割の方が特定健診を受けているのに対し、その扶養の方は1割程度しか受診していません。これが問題となっているのです。健康に気を付けて生活していても病気になるかもしれません。身体に異常が出る前に、健康診断で早期発見、早期治療が出来ればと思います。若い方には興味のない方が多いかと思いますが、若い方こそ早期発見、早期治療が大切なことだと思いますので周りにいる私たちが勧めたいと思います。

皆様がこれからも楽しく元気に生活できますように、年に1度の身体健康チェックをしていきましょう！

【T・H】

子どもたちは 終始笑顔で



世界に一つ 自分だけの コースター

7月27日(木)、大和町第2放課後児童保育室で学童保育木工教室がおこなわれ、支部から講師15人、児童82人が参加。この日は、講師陣に教わりながら自分だけのタイルコースターをつくりました。

新座支部は市の「生涯学習ボランティアバ

メントを塗って乾燥させます。

講師の仲間は一つひとつのテーブルを見て回り、子どもたちに声をかけ、補助をおこないました。時間が経つとともに、ボンドを塗るコーナー、セメントを塗るコーナーには長蛇の列が。タイル工の印南さんは「もっとタイルを埋めてくれると嬉しいんだけどなあ」と時おり苦笑いしながら次々とセメントを塗っていきました。

セメントを塗ったコースターは乾かして、翌日には完成となります。子どもたちは終始笑顔で作業をおこない「じょうずにできた」「ちよつとぐしゃぐしゃになったけど楽しかった」などの声が聞かれました。終了後、支部事務所に戻り「ハート形のタイルがもつとあったほうがいいね」「ブルーシートはロールの方が楽かも」など次回への課題を確認し、終了しました。

平和を願う心は 台風にも負けず



沢山の方が閉会式に参加

8月7日〜9日にかけて、原水爆禁止世界大会が長崎県で行われました。台風の影響で飛行機に遅れが出ていたため開会式の途中から参加しました。

8月7日〜9日にかけて、原水爆禁止世界大会が長崎県で行われました。台風の影響で飛行機に遅れが出ていたため開会式の途中から参加しました。

3日目は原爆資料館を見学しました。今回の大会は若い人達の参加が目立ったように思います。平和を作り上げる為にも来年はぜひ若い人の参加が出来るように後押ししていきます。

【石堀 丸山政信】

美味しいカレーおかわり

沢山の体験が 出来た一日

8月20日支部事務所にて4年ぶりの対面の親子工作祭りが開催されました。



運転してるみたい

スタッフ、来場者を含め41人が参加、今年のメイン工作はランプシェード作りです。

土台になる枠の材料を次世代の仲間がカットし、子供たちが組んだあとは各々のセンスで飾り付けていきました。うちの絵付けアートも行い、水に専用の絵具を垂らしうちわに色を付けたりと自分だけのうちわを完成させました。

材料カット中、子どもたちは興味深々

土台になる枠の材料を次世代の仲間がカットし、子供たちが組んだあとは各々のセンスで飾り付けていきました。うちの絵付けアートも行い、水に専用の絵具を垂らしうちわに色を付けたりと自分だけのうちわを完成させました。

午後からは本来最終日に行くはずだった閉会式を急遽行う事になりました。閉会式の中でロシアの人々には私たちウクライナ人の様になってほしくないという言葉が印象的でした。また、折り紙で鶴を折ってほしいという



事前予約では参加者は少なめかと思ってい

ましたが、当日参加が多く、久しぶりの盛り上がる行事になりました。

【御成橋 小池直樹】

No.6 労働安全ニュース

現場の現状を話し合い



現場のあるあるなどで盛り上がり

次世代層の声を どうやって 集めるかが課題

8月30日(水)に、支

部事務所3階で、支部資本従事者の会を名称変更して、明るい現場を目指す「現場交流会」として、今までの会議形式をフリートークの形に変え、組合員13人書記1人の合計14人が参加して開催されました。

参加したメンバー

目指そうよ二刀流
ここからただの健康職場

2023 全国労働衛生週間
10/1~10/7
9:15~17:30

事故の起こらない現場作りや
ワークライフバランスを見直しましょう

は、殆どが役員だったので、皆思い通りに現場あるあるの話で盛り上がり上がっていました。唐揚げややきとり、コロッケなどが用意され

【野火止 岡野和夫】

ていたので、アルコールがあつた方が良かったです。また、どうやって次世代層の参加を増やすか、行事も合わせた交流なども良いのではとの意見が出されました。

9月10日の本部資本従事者の会の参加者を、多川賃労部長と佐藤組織部長の2名と決定し、時間通りに散会となりました。

安全標語コンクールを 開催します

新座支部 独自開催

今年も、仲間の安全意識を高める災害防止活動の一環として「労働安全標語」の募集を、支部独自でおこないます。募集要項は次の通りです。

- ① 内容 労働安全に関する標語
- ② 字数 できるだけわかりやすい表現で簡潔なもの(応募は1人につき、1作品)
- ③ 応募資格 組合員とその家族
- ④ 賞品 12月に開催予定の「支部労働安全衛生委員会」で審査し、優秀作品に賞品を贈呈
- ⑤ 応募〆切 2023年11月30日(木)
- ⑥ 応募方法 FAXまたはメールで

【最優秀作品はクオカード5千円分】

「お名前」と「所属の分会」を添えて「標語を1作品」お送りください。
(名前・分会・標語が載っていれば、様式は自由です)

【FAX】048-477-9088

【メール】niza@saitama-doken.or.jp

※下のQRコードを読み取ると、簡単にメール送信画面に移ることが出来ます。

※支部に応募のあつた作品は、全建総連にも応募します。



9月以降も厳しい残暑続く 熱中症と「夏バテ」に注意

8月は全国的に猛烈な暑さが続き、建設現場では「熱中症」による救急搬送が相次ぎました。気象庁が発表した長期予報によると、9月から11月にかけての3か月も暖かい空気に覆われやすく、広い範囲で気温が平年より高い傾向が予想されています。特に9月は、東日本や西日本を中心に猛烈な暑さとなる日もあり、厳しい残暑が続く見込みです。

専門家は、熱中症に加えて「日中と夜の寒暖差が大きくなっていく9月以降も猛烈な暑さが続く」と、夏バテになる人が増えるおそれもある」と指摘しています。

建設現場での対策に加え、私生活での「食事」「睡眠」の要素が予防に大きく関わります。熱中症・夏バテは「一人ひとり正しい知識を持つこと」で、防ぐことができます。暑さ指数(WBGT)や熱中症警戒アラートの通知が届く「環境省のLINE公式アカウント」等も活用しながら、引き続き予防に努めましょう。

気象庁 3か月予報



環境省
熱中症予防情報
サイト

労働災害防止キャラクター
チューイ カン吉

